

主催：京都大学

共催：名古屋港水族館

名古屋市東山動植物園

企画・実施：京都大学野生動物研究センター

京都大学霊長類研究所

京都大学大学院理学研究科

京都大学国際交流推進機構

名古屋港水族館

名古屋市東山動植物園

後援：京都大学教育研究振興財団

中日新聞社

(社)日本動物園水族館協会

日本生態学会

日本動物行動学会

日本霊長類学会

日本動物分類学会

実施委員会：

[委員長] 幸島司郎 (京都大学野生動物研究センター)

伊谷原一 (京都大学野生動物研究センター)

村山美穂 (京都大学野生動物研究センター)

松沢哲郎 (京都大学霊長類研究所)

Fred B. Bercovitch (京都大学霊長類研究所)

友永雅己 (京都大学霊長類研究所)

山極寿一 (京都大学大学院理学研究科)

祖一誠 (名古屋港水族館)

小林弘志 (名古屋市東山動植物園)

京都大学国際シンポジウム

「生物多様性と動物園・水族館：生き物からのメッセージ」事務局

〒 606-8317

京都府京都市左京区田中閎田町 2-24 3階

京都大学 野生動物研究センター

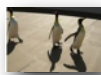
シンポジウム事務局代表 幸島司郎 (代表)

森阪匡通・吉田弥生・佐々木友紀子・植田彩容子

Tel : 075-771-4364, Fax : 075-771-4394

E-mail : biozooaqua@wrc.kyoto-u.ac.jp

URL : <http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/biozooaqua.html>



アクセス

* 当日は混雑が予想されます。最寄の公共交通機関をご利用下さい。



< 地下鉄でお越しの方 >

- 名古屋駅方面から -

名古屋駅 → JR中央線山手線 → 地下鉄名城線終点 名古屋港駅下車 → 名古屋港方面1 または3番出口より徒歩1分

- 藤が丘方面から -

地下鉄東山線 栄駅 → 地下鉄名城線終点 名古屋港駅下車 → 名古屋港方面1 または3番出口より徒歩1分

< お車でお越しの方 >

各高速道路IC → 築地口方面へ → 築地口交差点から名古屋港ガーデンふ頭方面に直進 → Garden Pier交差点左手 名古屋港湾会館ビル

* 駐車は近隣の有料駐車場をご利用下さい。



会場でのお願い

* 昼食は港湾会館内の喫茶をご利用下さい。外部からの持ち込みは、港湾会館規約により認められておりません。持参される方は、近隣の無料公共施設「ポートハウス」、Jetty内飲食施設等をご利用下さい。

* 同時通訳の為のヘッドセットをお配りいたします。使用・管理には十分ご注意ください。お帰りの際には受付にてご返却をお願いいたします。万が一、紛失・破損の場合は弁償金36,000円を頂きますのでご了承下さい。



第15回 京都大学国際シンポジウム
「COP10パートナーシップ事業」

生物多様性と動物園・水族館 ：生き物からのメッセージ

日時：2010年9月19日(日)～20日(月・祝)

場所：名古屋港湾会館 2・3階 (名古屋市港区)
招待講演 第一会議室
ポスター発表・特別展示 第二、三会議室

使用言語：英語および日本語 **同時通訳あり**



主催：京都大学 共催：名古屋港水族館・名古屋市東山動植物園

Last Circular

2010.09.07

<http://www.wrc.kyoto-u.ac.jp/biozooaqua.html>



開催趣旨

現在、地球上の多くの野生動物が絶滅の危機に瀕しています。動物園や水族館の人気者で、我々になじみの深いゴリラやイルカの仲間も例外ではありません。このままでは近い将来、アジアゾウやオランウータン、ジュゴンなども姿を消してしまうでしょう。私たちの暮らしを豊かにする生物多様性を守るには、野生動物の絶滅を食い止めねばなりません。

最近、動物園や水族館が野生動物の保全に果たす役割が注目されています。野生動物を守るには、自然生息地での研究や保全だけでなく、人工繁殖や環境教育など、動物園や水族館での研究・保全・教育を推進することが必要だからです。

この国際シンポジウムは、世界各地の自然生息地や動物園・水族館で、野生動物の保全・研究・教育活動の第一線にある人々が集い、野生動物の現状を見つめ、野生動物を守るには何が必要か、研究者と動物園・水族館がどう協力してゆくべきかを議論し、その成果を、生物多様性会議(COP10)開催地である名古屋から、世界に向けて発信することを目的としています。



Program

2010年9月19日 (日)

09:00-09:30	受付
09:30-09:40	開会挨拶 幸島 司郎 / 京都大学野生動物研究センター
【午前の部】	第一部：自然生息地での研究と保全
09:40-10:20	○ 座長：幸島 司郎 氏 ブラジル、中央アマゾンにおけるアマゾンカワイルカ個体群の長期研究 Vera M. F. da Silva / 国立アマゾン研究所, ブラジル
10:20-11:00	国際化社会におけるアジアゾウの保護管理 Raman Sukumar / インド科学大学生態学研究センター, インド
11:00-11:10	休憩

11:10-11:50	11:50-12:30	12:30-13:30
-------------	-------------	-------------

【午後の部】

13:30-14:10	14:10-14:50	14:50-15:00	15:00-15:40	15:40-15:50	15:50-16:00	16:00-17:45
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

18:00-20:00

11:10-11:50	11:50-12:30	12:30-13:30
-------------	-------------	-------------

【午後の部】

13:30-14:10	14:10-14:50	14:50-15:00	15:00-15:40	15:40-15:50	15:50-16:00	16:00-17:45
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

18:00-20:00

10:30-11:10	11:10-11:50	11:50-13:00
-------------	-------------	-------------

【午後の部①】

13:00-13:40	13:40-14:20	14:20-14:30	14:30-15:10	15:10-15:50	15:50-16:00
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

【午後の部②】

16:00-16:40	16:40-17:20
-------------	-------------

17:20-17:30

10:30-11:10	11:10-11:50	11:50-13:00
-------------	-------------	-------------

【午後の部①】

13:00-13:40	13:40-14:20	14:20-14:30	14:30-15:10	15:10-15:50	15:50-16:00
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

【午後の部②】

16:00-16:40	16:40-17:20
-------------	-------------

17:20-17:30

2010年9月20日 (月・祝)

08:30-	受付 (ヘッドセット貸出)
【午前の部】	第二部：動物園水族館での研究・保全・教育
09:00-09:40	○ 座長：伊谷 原一 氏 チンパンジーの為の研究, 擁護, 保全に関する取り組み - アメリカの動物園がいかに彼らへの関与を強めてきたか Stephen R. Ross / リンカーンパーク動物園, アメリカ
09:40-10:20	水族館だからできるイルカの生理学研究 - 繁殖生理を中心に 吉岡 基 / 三重大学大学院生物資源学研究所
10:20-10:30	休憩

2010年9月21日 (火)

09:00-17:00	施設視察 招待講演者限定：名古屋港水族館 名古屋市東山動植物園
-------------	---------------------------------------